

河内町新庁舎検討委員会（第3回）会議録概要

【1】日 時 令和5年2月22日（水）午後3時00分開会

【2】場 所 河内町役場 2階 大会議室

【3】出席者

○委員

1	町 議 会 議 長	牧 山 龍 雄
2	教 育 長	鈴 木 裕 之
3	町 議 会 総 務 経 済 委 員 長	星 野 初 英
4	町 議 会 教 育 厚 生 委 員 長	高 橋 稔
5	拓 殖 大 学 名 誉 教 授	秋 山 義 継
6	農 業 委 員 会 長	栗 山 功
7	民 生 委 員 児 童 委 員 協 議 会 長	平 川 和 文
8	シ ニ ア ク ラ ブ 連 合 会 長	田 中 正 一
9	か わ ち 学 園 P T A 会 長	榊 原 康 之
10	町 民 代 表 （ 生 板 地 区 ）	浅 野 大 介
11	町 民 代 表 （ 源 清 田 地 区 ）	鈴 木 久 枝
12	町 民 代 表 （ 長 竿 地 区 ）	久 保 俊 道
13	町 民 代 表 （ 金 江 津 地 区 ）	小 松 崎 崇 司
14	前 副 町 長	藤 井 俊 一

【4】欠席者

○委員

1	町 議 会 副 議 長	諸 岡 周 示
2	消 防 団 長	高 橋 博
3	商 工 会 長	宮 本 秀 樹
4	商 工 会 女 性 部 長	宮 本 正 枝
5	商 工 会 青 年 部 長	大 久 保 隆 司
6	前 教 育 長	大 野 繁

【5】町出席者

○事務局

1	総 務 課 長	諏 訪 洋 一
2	危 機 管 理 監	野 澤 茂
3	秘 書 広 聴 課 長	小 島 孝 裕
4	企 画 財 政 課 長	北 澤 雅 志

5	総務課長補佐	薬師寺大輔
6	総務課副参事兼係長	根本和明
7	総務課主幹	伊藤貴文

## 【6】会議の経過

1. 開会 午後3時00分
2. あいさつ（牧山委員長）
3. 協議事項
  - （1）新庁舎の基本的な考え方、整備方針について
  - （2）新庁舎の規模について
  - （3）新庁舎の建設位置について
  - （4）新庁舎の建設事業費、財源について
  - （5）新庁舎検討に係る財政収支シミュレーションについて
  - （6）その他
4. 閉会 午後5時00分

## 【7】質疑及び意見

### （1）新庁舎の基本的な考え方、整備方針について

- ・新庁舎の考え方、この内容でいいと思いますが、やはり人口減少、高齢化というのはどの自治体も今、減少気味で、これからもずっと続く傾向がございます。

まず考え方として、様々な施設を機能的に、お住まいのいろいろな世代層の利便性がある、そして安全性が必要だと思っておりますが、施設等が分散しておりますので、最初の計画の中ではきちんと整理されていると思っておりますが、今回のこの新庁舎については、施設の集約化を含めた新庁舎案も必要じゃないかなと思っております。また、高齢者が増えるので、公共交通等の整備の必要もあると考えます。そういった中で、こういう庁舎建設ともに付随的なものも考え方も必要と思っております。コミュニティーバスばかりじゃなくて、様々な交通資源を使うことができるような、そういう位置づけの庁舎ということで新庁舎の建設をやっていただきたいなと思っております。

私どもはこの委員会ですので、町長のほうに答申をしますけど、最終的には議会の皆さんの総合的な判断ということが一番重視されますので、委員に議員の皆さんもいらっしゃいますので、そういったことも考慮しながらつくっていただければなど。私は造ることは反対ではございませんが、ぜひそういったところを考えてお願いします。

- ・今の町の実態を考えると、人口が減少している中での町民の触れ合いの場というのをやっぱり意識することが大切かなと思いました。

それから、危機管理の拠点というのも特に大事なかなと思います。

- ・バリアフリーも、どの程度までのバリアフリーなのか。それから、ユニバーサルデザインと言いますが、これもどういう障害の持っている方まで対応できるのか。高齢化が進み、いつどういう状況になるか分かりませんし、どういう世代等が住んでいるかも分かりませんので、理解をして配慮した庁舎を造っていただきたい。
- ・災害が日中起きて、子供たちを大移動させなきゃいけないときに、学校近辺に庁舎があると、親目線としてはすごく心強いかなと思いました。
- ・新しい庁舎が造られた場合には、談話室みたいなところ、気楽に行って、微妙な問題を相談できるようなところがあるといいなというのを、いずれ私たちも年を重ねて、同じような立場になると想定されていますので、それが一つ町民に開かれた庁舎ということを目指すのであれば、そういうところを考えていただきたい
- ・これから細かいところをどの程度詰めていくのかなというのがすごく重要であって、難しいのかなというふうに思いました。個人的にはこの資料1の①の部分ですね。先ほど皆さんからお話があったように、町民に開かれたとか利用しやすい、そういうのがやっぱり大事なのかなとは思っています。
- ・有事の際に強い建物というのが一番大事。戦争ではないですけど、そういうことが起きたときの防空壕じゃないですけど、そういう施設があってもいいのかなと思いました。
- ・大きく考えると、この新庁舎の基本的な考え方、整備方針ですか。その辺はいいと思います。これからいざ整備していこうとなると、職員なり町民から意見が出ると思うので、それをうまくつなげていければいいかなと思っています。

## (2) 新庁舎の規模について

- ・いろいろな世代層や立場の人がいますので、アンケートなりを多少取ったほうがよろしいかと思います。
- ・敷地面積、1万4,000㎡、公用車が45台ってあるけど、そんなに公用車があるのか。  
⇒公用車として所有車とリース車合わせて45台あります。

- ・来庁者の想定が50台、公用車が45台、職員が116台を想定していますが、他に削減できる部分はないですか。

⇒施設を集約化することにより、台数を削減できるということは今後検討できると思います。1万4,000㎡は必ず必要ということではなくて、いわゆる多目的な広場とか、防災拠点だとか、面積の標準的なほかの市町村の先行事例等も踏まえて、試算をさせていただいたということです。

実際には、設計段階等で実際の敷地に合わせて形が決まっていくと思いますので、駐車場の部分につきましても、そういった部分での調整が出来ます。現時点での試算という形で御理解いただければと思います。

- ・完成が何年になるか分からないのですが、アンケートを私も取ってみたいという部分がありました。子供たちも町政に関わってもらいたい。
- ・この委員会は、町長への答申というものを御検討いただく委員会だと考えているのですが、先ほどお話の中でも御意見があったように、この答申を踏まえて、具体的な事業化を検討する中で、この住民アンケートであるとか、かわち学園の子供たちに対するアンケートだとか、そういったものを実施させていただいて、それを具体的な計画に反映させていただくというやり方はあるのかなというふうには思います。
- ・答申後でも構わないですけれども、町民の意見としてかわち学園の子供たちの分もきちんと取り入れていただければ、大丈夫です。

### (3) 新庁舎の建設位置について

- ・水と緑のふれあい公園というきれいな施設があって、かわち学園と来年度には認定こども園が完成するということであって、その認定こども園の南側は候補には入らなかったのですか。入れると何か問題があるとか、何かありますか。

⇒意図的に外したということではなくて、今、既存の施設をできるだけ活用するとしてらどうかというところから候補地を考えさせていただきました。

例えば、集約化ができるというふうに考えられる中央公民館付近ということで、4つの案を提示させていただきましたが、かわち学園周辺という形でも、その5つ目の候補地の案が望ましいという御意見があれば、この候補地案の中に加えさせていただくことは問題ございません。

- ・第5案として、かわち学園の近く、認定こども園の近くに設ける案について

⇒私は、作るのは結構だと思いますが、子供の交通の問題とか、場所によっては、車

は頻繁に入りますよね。決して駄目という意味合いじゃなくて、この造る場所によっては、考えなくちゃならないと思います。

自転車と歩行者と車、そういう問題も含めると、やっぱり交通上の問題も考えなくてはならないかと思えます。

・僕は集約化をするべき時期だと思いますけどね。学校だとか、あとは郵便局も近いとか。高齢化、少子化のスピードが異常に速いので、様々なサービスをメリットとして生かすには、一つのところにまとめるのが必要かなと思います。

・建設位置を絞って2案くらいにまとめたほうがいいのか、それとも5案全部出したほうがいいのか。その辺も検討していきたいと思えます。大体タイムスケジュールではどのぐらいを目指すとか、そういう方向性もないと、何回やっても同じことになるのではないかな。

⇒ 今回で3回目の委員会でございます。3回目の中で先ほどから御意見頂きました基本的な考え方や財政シミュレーションまで説明をさせていただきました。

今回は非常に（検討の）ボリュームが多いので、今の5番目の候補地を含めて、新たな資料の作成も必要となりますので、次回4回目の検討委員会でこのことについて御検討いただいて、その取りまとめをお願いするようなところで、事務局としては進めさせていただければありがたいなとは思っております。

内容的にも候補地だとか、財政の部分とか、そういったシミュレーションとか、内容的に非常に盛りだくさんの内容ですので、3回、4回という目安で、4回目にある程度、答申案に反映できるお答えをまとめていただくということもあるのかなというふうに事務局としては考えております。

・スケジュール案というものがあるのですけれども、これは一つの目安でありまして、実際のこの検討委員会のこの内容で、それが4回目、5回目の時期がずれるとかはあると思えます。今回3回目ですけれども、継続の審議という形になれば、できるだけ期間を空けず資料作成の時間等もあるのですけれども、4回目を開けるといいなというふうに事務局としては考えております。

・場所がいろいろな候補が出ているじゃないですか。最初に場所を決めていただいて、ここで決めるなら決めてもらって、それで次の段階で、今度、庁舎をどんな形にしていくとか、そういう具体的なものに一つ一つやって、全体的にこうやって、それをまとめましょうというのは結構大変なことですよ。候補地が出たならば、この候補でこの中から候補を絞ってもらいたいとかっていうのであれば、みんなで話し合っ

議論をして、そして場所を決めて、決まったなら、資金もある程度出ていますので、次の段階で、バリアフリーとか災害対策にするのだから、一つ一つ決めないと労力をかけて、なかなか決まっていけないんじゃないかって思います。

- ・ 例えば5つの案を出しますよね、最終的に建てるのは1か所でしょ。この1か所は誰が決めますか。

⇒町長と議会で決めます。

- ・ この5つの場所を慎重に議論して答申を出さないと、議会と町長が決定したということになってしまいます。

- ・ 検討委員会ですから、5案を検討して2つぐらいに絞るとか、それで町長に答申とかの形のほうがよいのではないか。

- ・ 学校の脇とか施設の集約など、これから必要だと思うんです。自然と学校と中央公民館のそばとか、河内の中央付近に決定になるんじゃないかと思うのです。

答申というのは、河内町の中央付近ということでは出せないのではないかと思うのです、場所としては。学校の脇でもよいですし、公民館の前でもよいですし。その辺をまず決めて、この中学校跡地とか、ここの現在地というものをどうするか。場所的なものを決めていったほうが、まずはよいんじゃないかなと。河内町は細長いので、中央っていうと、やはり誰でも賛成できるんですよ。これからは中央に集約というのは、仕方がないことではないでしょうか。

- ・ あと一つ聞きたいんですけども、東電の鉄塔が通っていますよね。建築関係で、鉄塔建っていることによる弊害というのはあるんですか。東京電力の方に伺ったことがあるんですが、鉄塔の近くだと電磁波の影響とかを心配する方とかもいらっしゃると思いますが、その影響は基本ないというふうに聞いています。例えば鉄塔のすごい近くに建てるという形になってしまうと、建設の方法とか建てづらさとか、そういった弊害もあると思いますので、高さ制限とか、何メートル離れたところがいいとか、そういう基準があるのかないかなと思って。

自分、モチ米作った時にスズメ来るので、鉄塔の近くで、キラキラするやつ張ったんですけど、あれ、東電が回ってきて回収してくださいと言って、別のああいうやつ寄こされるのですよ。放電するからって。だから、そういう危険性もあるのかなと思って、お伺いしたんですけども。

⇒具体的な基準等については、再度確認させていただきます。

- ・送電線の下には建物を建てると、送電線近くなっちゃうから、やっぱり無理だと思うんですけどもね。どのくらい離れていいのかというと、それは東電に聞かないと分からないですよ。それも考慮していかないと、未来的にまちづくりの拠点となって広がっていくときに、そのまま影響しないところのほうがよいんじゃないかなと思ったので。将来性も考えながら、建てる場所を選定したほうがいいのかなと。そういう観点から、質問しました。

⇒確認いたします。

- ・新庁舎の建設位置についてはいろいろな意見があるし、また今日出席されていない委員さんが6名ほどいますので、継続協議ということでさせていただきます。

(3) 新庁舎の建設位置について

(4) 新庁舎の建設事業費、財源について

(5) 新庁舎検討に係る財政収支シミュレーションについて

⇒※継続協議

(6) その他

- ・次回の新庁舎検討委員会開催の時間について

⇒協議の結果、5月中旬の同じ時間帯に開催

次回の委員会開催通知に修正・追加資料と会議録概要を送付予定